

DALIAN KOYO WAZHOU AUTOMOBILE BEARING CO., LTD.

- 大連光洋瓦軸汽車軸承有限公司，KWA -

1. 会社概要

社名	大連光洋瓦軸汽車軸承有限公司，KWA DALIAN KOYO WAZHOU AUTOMOBILE BEARING CO., LTD.		
所在地	中国 遼寧省 大連市双D港遼河東路96号		
資本金	2390百万円 (2005年6月末 増資完了後)		
出資者	光洋精工株式会社	51%	
	瓦房店軸承集団	45%	
	豊田通商株式会社	4%	
従業員	154名('04年末) (日本人2名 内数)		



2. 地域の紹介

1) 遼寧省

中国には省と自治区と特別市があり、大連光洋瓦軸汽車軸承有限公司(以下KWAと称す)のある遼寧省は中国東北部の西端に位置し、東側の一部は朝鮮民主主義人民共和国と隣接しています。中国における省はアメリカにおける州と同じように大きな権限を持っていますが、北部地域は南部に比べ発展が遅れており国営企業の建直しが必要のため、中央政府も特別な法律を作り再生化に取り組んでいます。

省都は古い歴史のある街瀋陽であり、清王朝が北京に移る前に都にしていたところで、当時の故宮(王宮)も残っています。人口6100万人の、84%が漢民族、その他満州族、モンゴル族、回族、朝鮮族など43の少数民族が居住しています。

最近では華東、華南に比べ、賃金が安いので、優遇策とあいまって外国資本の投資が増加しています。

2) 大連市

行政区域で言う大連市は遼東半島の南端に位置し、人口は560万人、緯度で言えば日本の仙台と同じ位置です。

大連市(日本で言う市町村)の気温は平均10℃、最高31℃、最低マイナス15℃ですが、冬の湿度は非常に低く雪はほとんど降らず、体にはそんなに低く感じません。ただし風がきつくと耳がちぎれるように痛くなります。また古くから日本人に馴染みのある町で、商社・金融・製造業の企業がたくさん進出しています。最近では政府がソフトウェア開発部門に力を入れており、人材教育として大学で日本語とコンピュータが同時に学べるように工夫をしており、ソフトウェア会社だけでなく、自社製品のシステム開発のための会社も進出しています。このため市内には20階・30階建てのビルが乱立しています。ただし、建築中の様子を見ると、地震が無いこともあり構造的には日本に比べ強度不足の印象ですが、出来上がった姿は非常に立派で不安は感じません。

大連市は外資導入に積極的で、いろいろな優遇策と共にインフラの整備も行っております。特に日本語教育に力を入れており専門学校も入れるとたくさんの教室があります。この結果、日系企業の進出が加速され、たくさんの日本人が滞在しており、日本の領事館の出張所があります。

大連周囲の海は深く、冬でも凍結しない天然の良港のため、東北3省(遼寧省、吉林省、黒龍江省)の海の玄関口として古くから開発され、現在では30万トン級の船も着岸することが出来ます。東北地区に向かっては鉄道が発達し、片側4車線の高速道路も整備され、物流拠点としての役割が大きくなってきています。また、海は水がきれいで、漁業が盛んで、養殖も行われており、中国の大都市へはここから魚介類が出荷されています。大連市内の多くのレストランでは海鮮料理(平目の活けづくり、生うに、蟹など)がとってもおいしくいただけます。また、温泉地としても有名で、大連市内、近くの旅順市、瓦房店市には日本式の天然温泉旅館があります。

3)大連経済技術開発区

大連市中心部から大連湾をまたいで北東27kmの位置にあり，農業と漁業の村であったのが1984年に国家より開発区としての認定を受け(中国で第1号)，開発が始まりました．その後，日系の製造会社が多数進出し，現在では260社を超える企業が活動しており，ここに働く従業員を中心に人口が増え，開発区で28万人が住んでいます．近年は韓国や他の国の企業も進出してきています．大連市中心と開発区，金石灘の間に電車が開通し，市内から30分で来ることが出来るようになり，通勤している人もたくさんいます．



開発区駅

日常生活を見ると，開発区には出張者を含め常時1 000人近くの日本人が滞在していますので，ホテルでは日本語が通じ，周囲に日本食のレストランが多数あり(会席料理，定食，日本風焼肉からお好み焼きまで日本の味付け)，中華料理，韓国料理(朝鮮半島に近いので朝鮮族の人も多数居住)の店でも片言の日本語が通じます．買い物に行っても同様で，日本から輸入したラーメン，調味料，酒を売る専門店があり，中国が初めての方でも生活に不自由することはありません．

休日には開発区に2004年にできた日本式ヘルスセンターへ行くのも楽しみのひとつです．天然温泉でサウナ，露天風呂，休憩室があり，人種に関係なく裸の付き合いが出来ます．別料金でマッサージ，大舞台の観劇が出来，純日本風の畳の部屋があり，宿泊も出来ます．風呂上りのマッサージは最高です．



開発区中心部

また，近くに国が保養地として指定している金石灘という風光明媚な場所があります．夏場は海水浴場として有名で，夜9時までライトアップされるなど色々な催しが行われ，平日でも混み合っています．

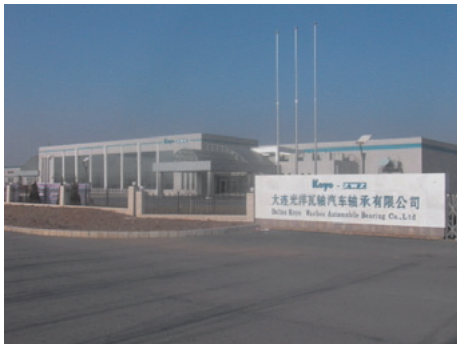


金石灘海岸線

3. 会社の紹介

1 沿革

- ・ 1995年12月 光洋精工(株)と瓦房店軸承の合併会社(KWA)設立
- ・ 1996年8月 生産開始(瓦房店軸承の工場建屋を使用)
- ・ 1997年1月 ISO9002認証取得
- ・ 2000年9月 QS-9000認証取得
- ・ 2003年1月 双D港に新工場建設し移転の上生産開始
- ・ 2003年11月 TS16949認証取得
- ・ 2004年8月 第3世代ハブユニット用製造設備導入



大連光洋工場

2 製品

KWAは中国国内の乗用車用ホイール軸受の生産販売を目的に光洋精工と中国最大の軸受メーカーである瓦房店軸承集団が合併で設立した会社で、現在では中国国内自動車工場からの要求によりハブユニット(第2世代, 第3世代)も生産しています。一方、販売は光洋精工(上海)と瓦房店軸承双方が担当することになり、KWAは生産会社として存在しています。

中国には軸受メーカーが3,000社あると言われていています。最近では中国メーカーも力をつけてきており、オール中国材を使った軸受には価格では勝負できません。特に市販用軸受の市場は競争が激しく、OEMより安い価格のものもあります。そこでKWAの生きる道として、光洋が設計し、KWAが生産、光洋が評価した製品、つまり日本と同じ品質の製品をリーズナブルな価格で買っていただくようにしています。

2005年からは第3世代ハブユニットの納入も始まり、最先端技術のホイール用軸受製品を作っているとの気持ちで「光洋と同じ品質を光洋より低いコストで作ら込む」を目標に従業員一同日夜ががんばっています。